

早稲田大学 大学院法学研究科
2026 年度 修士課程入学試験問題（一般入試）
【専修科目】

専攻名： 民事法学

専修名： 経済法

以下の設問のうちいずれか1問を選んで答えなさい。はじめに「設問1につき回答する」などとして、回答した設問の番号を明記すること。

設問1 独占禁止法上の不当な取引制限や事業者団体の規定に照らし、共同行為を正当化することができる根拠及び具体的事例を説明しなさい。

設問2 消費者取引における優越的地位の濫用は成り立ちうるか、優越的地位の濫用（独占禁止法2条9項5号）における公正競争阻害性についての判例の立場を踏まえつつ、説明しなさい。

設問3 デジタルプラットフォーム提供事業者が、利用事業者に対し自社以外の競合サービスの利用を禁じることは独占禁止法上どのような問題が生じるのか、「市場閉鎖効果」の内容に触れつつ、説明しなさい。

設問4 不当な取引制限に該当する行為について同一の事業者が課徴金納付命令を受け、さらに刑事罰を処せられることは二重処罰の禁止に反しないのか、独占禁止法上の課徴金制度の性格に触れつつ説明しなさい。

以上

答案の書き方（ ☐ 横書き / ☐ 縦書き ） 六法全書の使用を（ ☐ 認める / ☐ 認めない ）